

経営比較分析表（平成28年度決算）

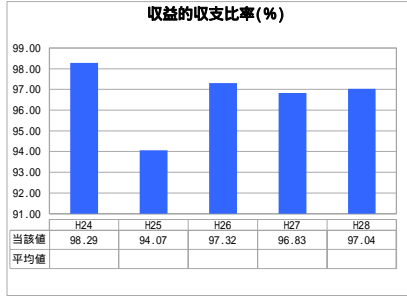
佐賀県 吉野ヶ里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	35.05	100.00	3,564

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,221	43.99	368.74
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,637	1.82	3,097.25

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



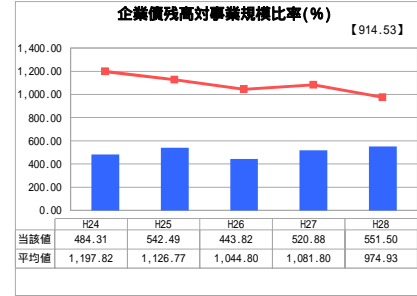
「単年度の収支」



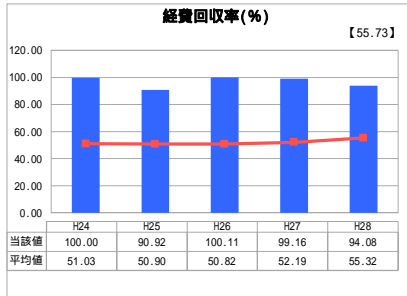
「累積欠損」



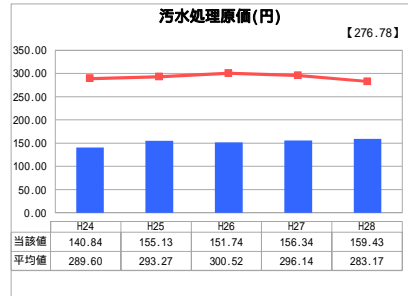
「支払能力」



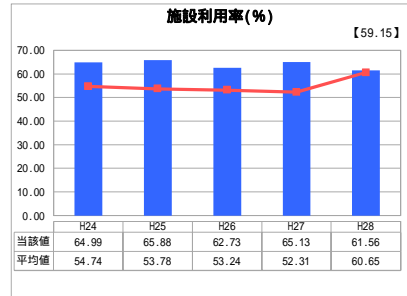
「債務残高」



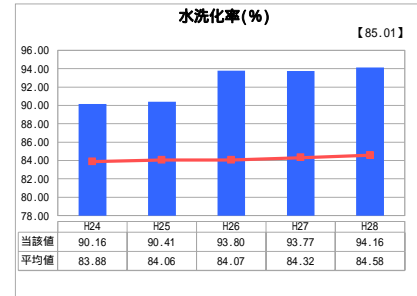
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

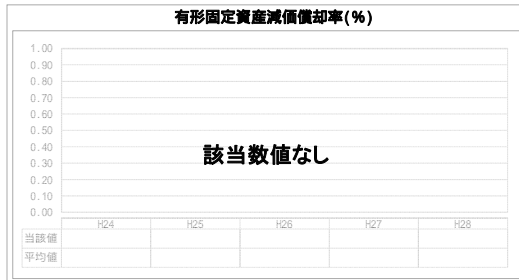


「施設の効率性」

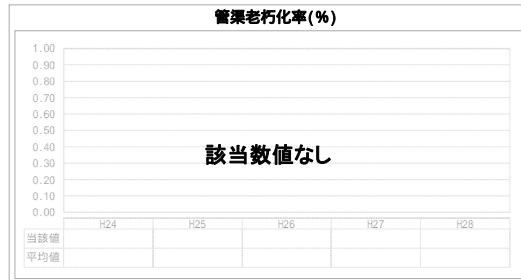


「使用料対象の捕捉」

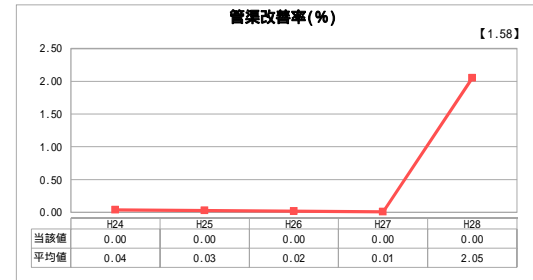
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率については、97.04%となっている。経費回収率については、94.08%となっており、類似団体平均値を大きく上回っている。また、汚水処理原価についても159.43円となっており、類似団体平均値を大きく下回っている。これらのことから、適正な使用料体系となっていると考えられる。

・「債務残高」については、事業規模比率551.5%で、類似団体、全国平均値を大きく下回っている。処理場の機能強化事業等により若干前年度から増加したが、将来的に健全な下水道運営に支障をきたすことはないと考えられる。

・「水洗化率」については、平成28年度末で、94.16%となっており、類似団体平均値、全国平均値を上回っている。今後も、普及促進等を行い水洗化率の向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

下水道管渠については、整備後、25年が経過しているが、法定耐用年数を超えたものはない。早急な管更新等の必要はないものの、日常のメンテナンス、管理を行う必要がある。

全体総括

経費回収率、汚水処理原価について、類似団体平均値より優れている。経費回収率については、94.08%であるので、100%以上となるよう経費削減等に努める必要がある。将来の安定した下水道運営の継続に向け、公共下水道への接続(処理場の統廃合)を平成29年10月に実施し、更なる経費の削減に努めていく。

法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。